

case.5 妻と交代で育児休業

子どもの成長を間近で見たい

木村司さん(きむらつかさ・36歳)

日本の男性の育児休業取得率は2.3% (厚生労働省2014年度雇用均等基本調査)。まだまだ少ないのが現状だ。大阪高等検察庁に検察事務官として勤める木村司さん(36歳)は、その数少ない1人。長女の、そらのちゃん(4歳)が、1歳~1歳半になるまでの半年間、育児休業明けの妻と交代で、休みを取得した。

「初めて歩く、しゃべる。成長を間近で見ることができたのが収穫でした」。朝、妻の出勤後は2人きりの優しい時間が流れる。図書館に行ったりベビーサークルに参加したり。子どもが昼寝する間は、自分も隣でごろり。妻が通っていたベビーヨガ教室にそのまま通い、ママ友も引き継いだ。「今でもよく挨拶しますよ。仕事をしているだけでは持てなかった地域とのつながりも持てました」。

検察事務官同士の職場結婚。妊娠中、体調管理に苦労する妻を見るうち、まだ見ぬ子への思いが膨らんだ。「無事に生まれて、とにかくうれしかった」。職場にすでに休みを取った先輩、たちがいた心強さもあり、育児休業を申請。休業後は育児中の女性への意識が変わり、仕事の視野も広がった。

仕事柄、悲惨な事件の被害者やその家族の話聞く機会も多い。重い気持ちで帰途につく日もあるが、最寄り駅で降りる頃には素の自分に戻る。3月には新しい家族を迎える予定。「仕事も大切。家族も大切。僕の人生は1つだけじゃない。子どもとの時間、趣味...やりたいことがいっぱい。家族が増えてからの毎日も、今からとても楽しみです」。



木村さんの大切なもの  
1 家族  
2 健康  
3 趣味

取材担当

男性にとって  
育児休業は大切な時間  
男性にとって、親子のつながりを作るのは時間だ。私はボランティアで保育所に何度か行ったことがあるが、子どもがくれる刺激と幸せは、いい経験になる。その意味でも男性の育児休業は大切な時間だと感じた。(山本宝良)

取材担当

仕事と子育て  
両立できる大人めざす  
仕事と育児の両立は大変なようだ。近ごろは、共働きが多いが、木村さんは、できるかぎり子どもといたいとおっしゃっていた。自分も、将来は共働きでも子どもに寂しい思いをさせない大人になりたい。(松浦啓太郎)



図書館は今でも2人の大好きなスペース

散歩を楽しむ木村司さんとそらのちゃん

豊中市の施策

■子育て講座をしています♪  
豊中市内に17カ所ある子育て支援センターでは、親子で楽しむ遊びや講座、子育て相談などを開催しています。各保育園や幼稚園などでもいろいろなイベントを行っています。子育て支援センターほっぺ  
TEL06-6852-5526

■えほんで子育て応援します  
豊中市では、毎月、4カ月児健康診査の会場図書館職員とボランティアスタッフが、赤ちゃん絵本をつなぐブックスタート事業「えほんはじめまして」を行っています。各図書館では、おはなし会も実施。  
岡町図書館 TEL06-6843-4553



若林さんの大切なもの  
1 家族  
2 自分の時間  
3 友人

自宅で英語サークルの準備をする若林敦子さん

case.6 地域に根ざして生きる

皆でいつまでも笑っていられたらいい

若林敦子さん(わかばやしあつこ・40歳)

若林敦子さん(40歳)は、子育て真っただ中。のんびり屋の長男、賢伸君(8歳)とハキハキと元気な二男、泰伸君(6歳)は、ケンカもするが仲良しだ。夫の毅さん(42歳)は消防士。「3人とも食欲旺盛。息子たちはキッチンに立つのが大好きで、特にカレーライスと一緒に作るのが我が家のルールです」。小さな頃から親子クッキングに通ったこともあり、兄弟にとって料理は楽しいことの1つ。ゴロゴロと不ぞろいな野菜も、皆で作って食べれば最高のごちそうだ。

クッキングだけでなく敦子さんは兄弟を連れて地域のイベントなどに積極的に参加してきた。「市や地域が主催する幼児教室や遊びの広場など毎日のようにどこかへ通っていました。1人で子育てしているという閉塞感に陥ることはなかったです」。

結婚前、ワーキングホリデーでカナダに1年半滞した経験があり、その語学力を生かして児童館で月に2回、英語サークルの講師を務めている。子どもたちも学んでいたサークルで、前任の講師から声をかけられたのがきっかけだ。

また、豊中市私立幼稚園PTA連合会会長を務め、夏祭りや運動会など行事の企画や準備を担当。地域の仲間とソフトバレーボールのチームを組み、練習・試合に汗を流す。多忙な日々だが「どれも私には大切な時間。特に気持ちを切り替えてということもないですね」と自然体だ。

将来についてもきっちりとしたプランを描いていないという。こちらも自然体。「子どもの将来に期待しすぎないようにしているんです(笑)。皆でいつまでも笑っていられたらいいなって思います」。



ソフトバレーボールチームの仲間と、前列右端が若林さん

取材担当

家事・子育て・地域活動  
輝く主婦に憧れる  
家事や子育てを楽しみながら、地域とも積極的にかかわる姿に、専業主婦に抱いていたイメージが変わった。家族のことを話す若林さんは、輝いている。将来、私も家族を一番に考え、支えられる主婦になりたい。(増野花菜)

豊中市の施策

■市民活動について知りたいときは  
阪急豊中駅北改札口前にある「市民活動情報サロン」では、市民活動に役立つ情報の収集や発信、多くの人が交流するための事業を実施しています。高校生らに市民活動のボランティア情報も提供しています。  
市民活動情報サロン TEL06-6152-2212

■子育て仲間が見つかります  
豊中市には、さまざまな楽しい体験ができる子育てサークルや、月1回程度、小学校区単位で地域の親子で参加できる催しを行う子育てサロンがあります。  
豊中市 子育てサークル 検索